

平成27年5月21日

平和と繁栄のための済州フォーラム
(韓国済州島)



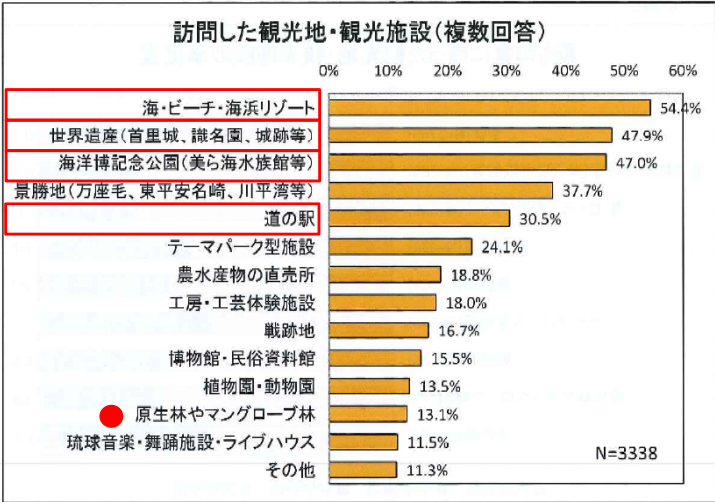
観光客1000万人時代の インフラ整備

沖縄総合事務局 次長 尾澤 卓思

- 沖縄県では、観光を県経済のリーディング産業と位置付け、入域観光客数1000万人を目標。(2022.3)
- 沖縄観光の満足度に関する調査によると、旅行中に訪問した観光地・観光施設において、首里城などインフラが上位。
- 沖縄の観光を支えているのは「インフラ整備」である。

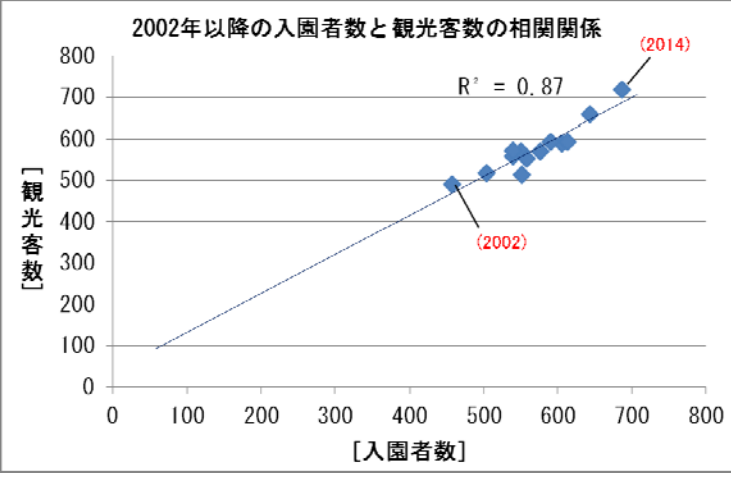
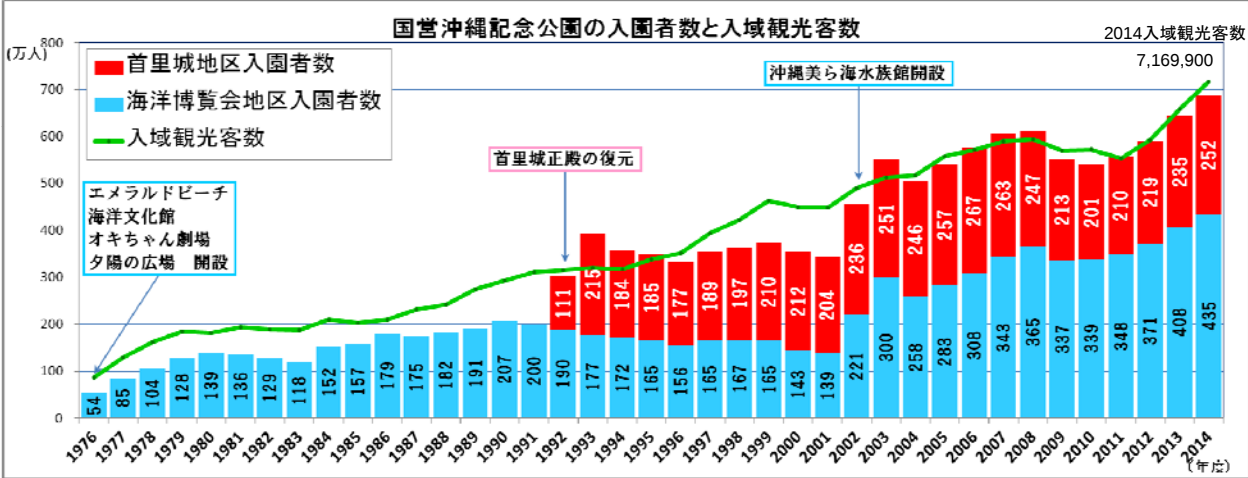
沖縄県観光振興基本計画(第5次) (2012.4~2022.3)

- 【2022.3 達成目標】
- 1. 観光収入 1兆円
 - 2. 観光客一人当たり県内消費額 10万円
 - 3. 平均滞在日数 5日
 - 4. 人泊数 4,027万人
 - 5. **入域観光客数 1,000万人** (国内客800万人・外国客200万人)



出典：沖縄観光の満足度(平成24年度 観光統計実態調査(沖縄県))

【国営沖縄記念公園入園者と沖縄県観光客数の推移】



- 沖縄観光振興に貢献するインフラ整備を明らかにし、6つの分野でシナリオを作成し、政策提言を実施。
- 各事業の縦割りの展開を観光の観点から横串を刺した形で整理。
- 観光振興の目的・目標に対し、インフラの総合力の重要性をわかりやすく提示。
- 観光とインフラの融合という新たな視点でのインフラ整備を推進。
- 観光客のみならず県民にとって便利で質の高いインフラ整備を実現。

6つの分野のシナリオ

1. 観光資源の整備
(インフラは観光資源)
2. 観光地等の地域支援
(沖縄らしい魅力のある地域づくり)
3. 交通網の整備
(交通拠点とネットワークの構築)
4. 情報発信の拡充
(交流拠点からの発信)
5. 環境保全・再生
(保全・再生技術の蓄積と活用)
6. 防災・危機管理
(迅速かつ適切な初動対応の確立)

具体的な活動

1. 6つの分野のシナリオを作成・公表
(政策提言)
2. 講演・シンポジウムの開催
(経済界や土木学会等)
3. パネル「観光とインフラ展」の開催
(ショッピングセンターやイベント会場等)
4. 沖縄観光インフラカードの発行
(観光とインフラの融合)
5. 有識者等へのインタビューの新聞掲載
(専門紙で連載)
6. 新たな施策の検討
(将来展望)

- 沖縄中南部は、港湾事業などによる人工ビーチが多い。
- 離島架橋は、交通の利便性向上のみならず美しい景観から観光拠点となる。
- ダムは、治水や利水のみならず施設やダム湖を活かした観光拠点を形成。6ダムで「沖縄北部ダムツーリズム」を推進。
- 国営沖縄記念公園は、年間687万人と沖縄観光の中心的存在。

人工ビーチ 位置図

●港湾事業(国土交通省)
●沿岸事業(国土交通省)
●公共・公園事業(国土交通省)
●公園事業(国土交通省)
●港湾事業(国土交通省)
●港湾事業(国土交通省)

海洋博公園 エメラルドビーチ
名護21世紀の森ビーチ
ナミビーチ
宇留泊(ビーチ)
サンセットビーチ※2
アラハビーチ
トロピカルビーチ
波の上ビーチ
豊崎美らSUNビーチ※2
美々ビーチいとまん

●名護21世紀の森ビーチ
●豊崎美らSUNビーチ
●宇留泊(ビーチ)
●サンセットビーチ※2
●アラハビーチ
●トロピカルビーチ
●波の上ビーチ
●豊崎美らSUNビーチ※2
●美々ビーチいとまん

※1埋立造成は国、砂浜部分は県・市の事業で整備
※2砂浜部分は他事業で整備

平良港
トウリバー地区
「サンセットビーチ」※1
石垣港
新港地区「人工ビーチ」※1
博愛わいおいビーチ

豊崎美らSUNビーチ

あざまサンサンビーチ

離島架橋 位置図

●道路橋梁事業
●鉄道橋梁事業

伊平屋村
野間大橋 (橋長320m, H16.3m)
座間味村
阿嘉大橋 (橋長500m, H10.5m)
宮古島市
池間大橋 (橋長142m, H4.2m)
伊良部大橋 (橋長350m, H7.1m)
糸間大橋 (橋長160m, H7.3m)
古宇利大橋 (橋長192m, H7.2m)
ワルミ大橋 (橋長315m, H22.1m)
瀬底大橋 (橋長72m, H30.2m)
屋我地大橋 (橋長300m, H6.3m)
平家渡海中大橋 (橋長200m, H10.3m)
浜比嘉大橋 (橋長300m, H9.2m)

古宇利大橋

ワルミ大橋

沖縄北部ダムツーリズム

安波ダム

亜熱帯ジャングルカヌー(安波ダム)

国営沖縄記念公園

沖縄美ら海水族館

首里城

首里城

交通網の整備

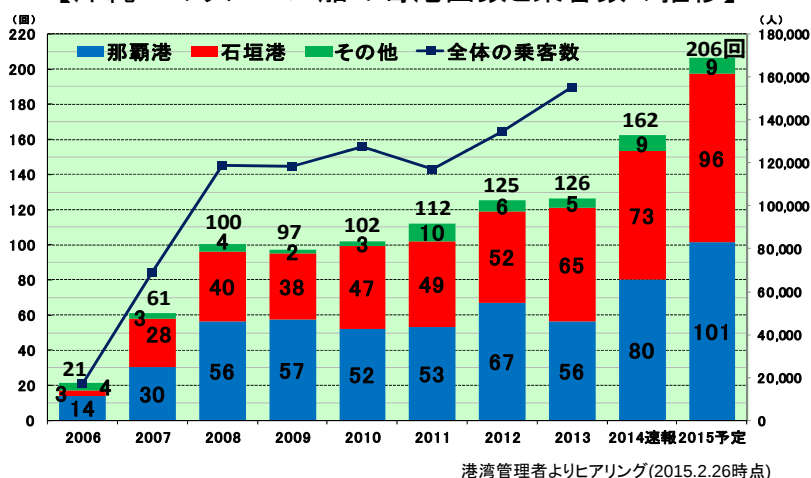
- 沖縄へのクルーズ船の寄港回数と乗客数は年々増加。那覇港、石垣港において、増加するクルーズ需要やクルーズ船の大型化への対応が重要。(複数のクルーズ船バースが必要)
- 航空需要の増加により、滑走路増設に着手、2020.3供用開始を目指す。2本の滑走路により、トラブル発生時も運航が可能。(リスク回避)

港湾整備

那覇港旅客船バース

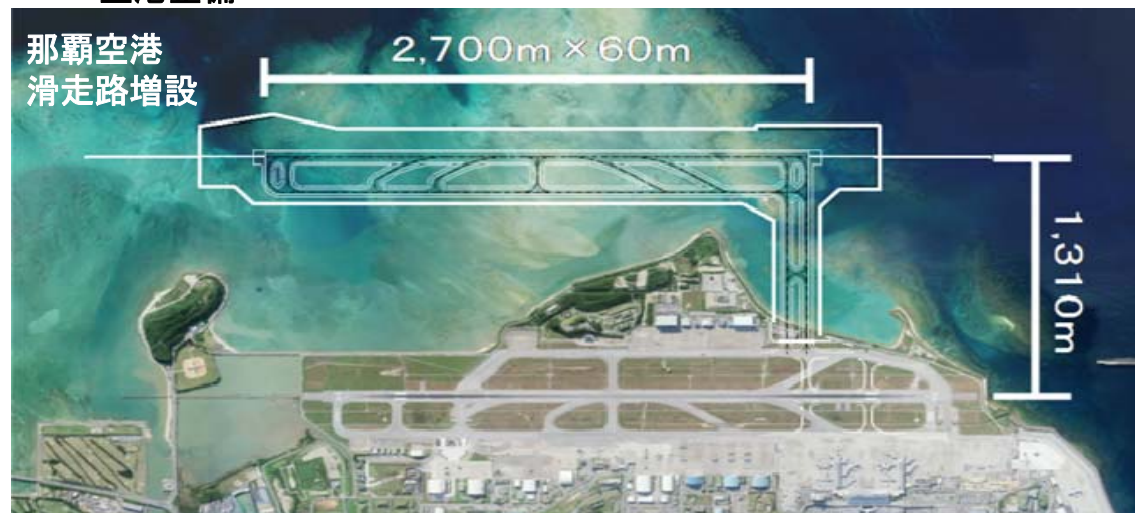


【沖縄へのクルーズ船の寄港回数と乗客数の推移】



空港整備

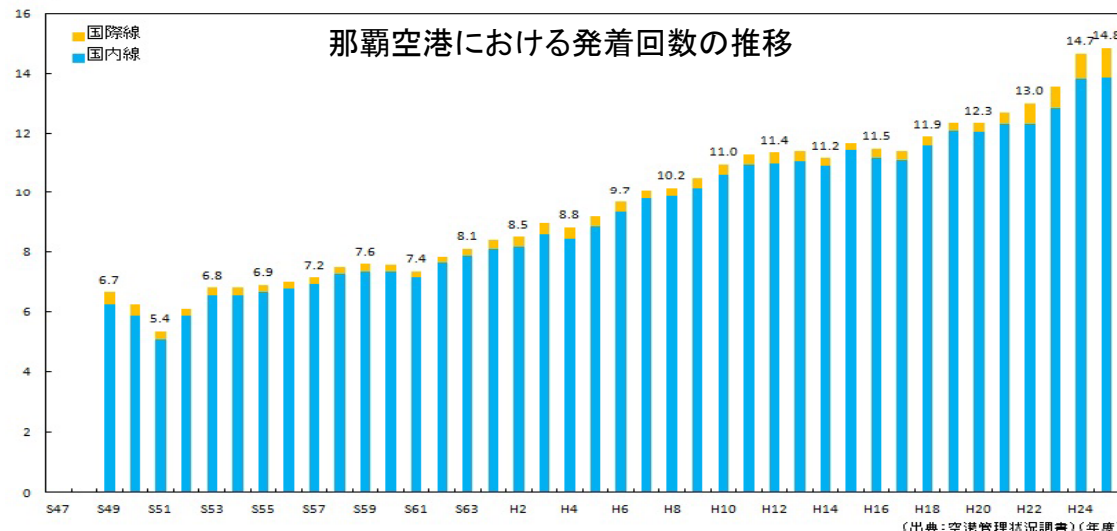
那覇空港
滑走路増設



(万回)

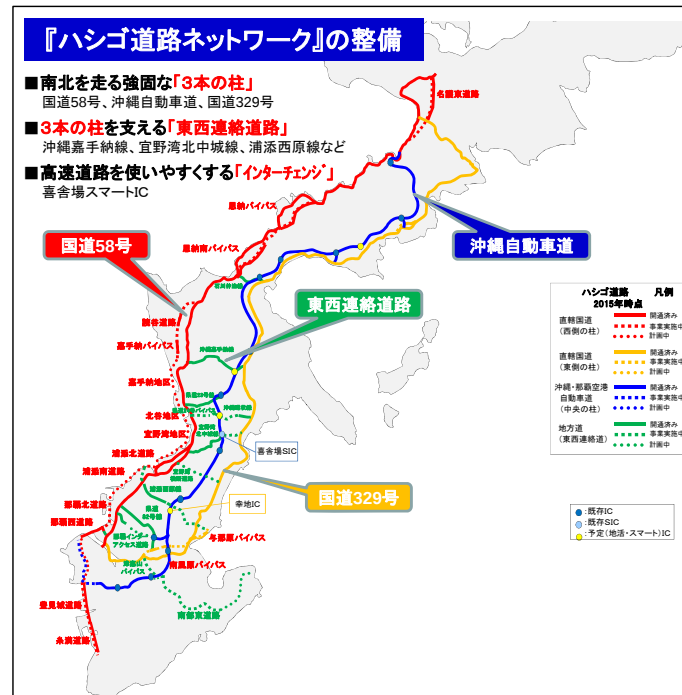
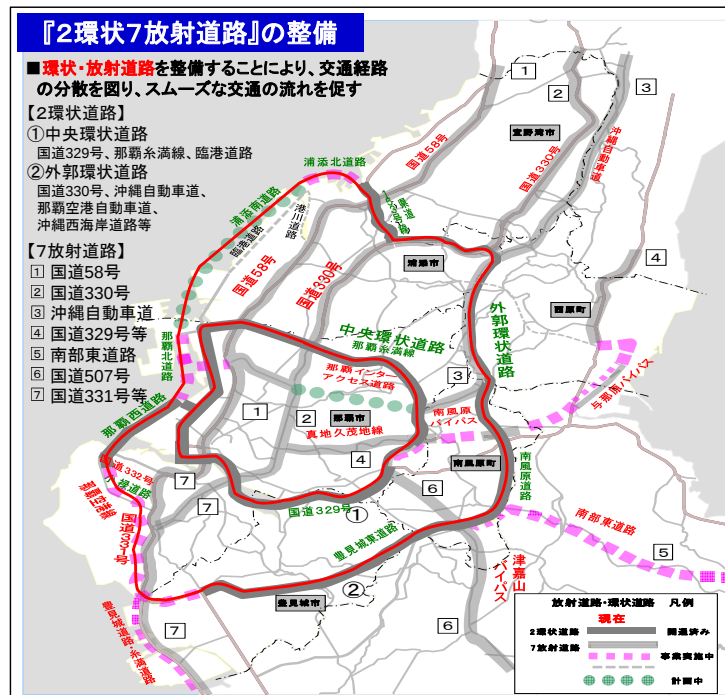
国際線
国内線

那覇空港における発着回数の推移

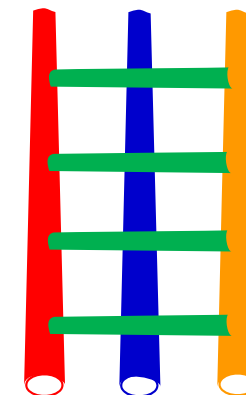


交通網の整備

- 那覇都市圏に2環状7放射の道路を整備し、日本での渋滞ワースト1位から脱却。
- 本島の南部、北部を3本柱のハシゴ構造の道路で結び、円滑な交通移動を実現。



ハシゴ構造



那覇都市圏における外郭環状道路の機能強化



- 「道の駅」は、「休憩機能」や、「情報発信機能」、「地域の連携機能」の3つの機能を併せ持つ施設。
まちの特産物や観光資源を活かし、「ひとを呼び、地域にしごとを生み出す」核へと進化。
- 観光客を含め一般の方に、観光に貢献するインフラ整備について、理解してもらうため、インフラ施設を対象とした「沖縄観光インフラカード」を作成し、手渡しで配付。ソフトインフラにより観光振興に貢献。

道の駅

- ・進化する道の駅
域外から活力を呼ぶゲートウェイ型
地域の元気を創る地域センター型

【ゲートウェイ型】

【地域センター型】



地域の観光窓口



近隣の漁港でとれた新鮮な魚を販売



地域工芸(染め織物)の体験



災害時の避難階段

沖縄観光インフラカード

- ・現在、14施設で発行、今後も対象施設を追加していく予定。

沖縄北部ダムツーリズム

福地ダム



安波ダム



漢那ダム



道の駅

許田



おおぎみ



ゆいゆい国頭



かでな



喜名番所



豊崎



いとまん



ぎのざ



国営沖縄記念公園

沖縄美ら海水族館



首里城



開通記念

豊見城東道路



ご清聴有難うございました。

開発建設部HP <http://www.dc.ogb.go.jp/kaiken/012480.html>